

令和7年度亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会 会議録（概要版）
（第2回会議）

1. 日時

令和8年3月11日（水） 14:00～15:30

2. 場所

亀岡市役所3階 302・303会議室

3. 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 高齢者等実態把握調査の結果について
 - (2) 第10期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュールについて
- 4 閉会

4. 配布資料

次第
亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会委員名簿
資料1、資料2、資料3、参考資料

5. 出席者（敬称略）

松田 美智子（龍谷大学）、荻野 茂（亀岡市歯科医師会）、国府 千香代（亀岡市薬剤師会）、
山崎 浩久（亀岡市社会福祉協議会）、小寺 邦明（亀岡市民生委員児童委員協議会）、
細川 景子（社会福祉法人 利生会）、前淵 功（社会福祉法人 友愛会）、
林 昭（亀岡市老人クラブ連合会）、堀田 稔（亀岡市自治会連合会）、谷奥 正憲（市民代表）、
岩坂 静子（市民代表）

※傍聴者1名

6. 主な協議内容

（事務局） 【開会】

【開会挨拶】

（事務局）

・欠席者のお知らせ

協議事項（１）高齢者等実態把握調査の結果について

（事務局資料説明） 【資料１、資料２、参考資料】

【質疑応答等】

（委員）

- ・資料１の配布数３，５００件を決定した根拠は何か。

（事務局）

- ・１圏域ごとに必要なサンプル数が４００件であり、３圏域で計１，２００件以上の回答を確保するため、回収率の低下を見込んで各圏域１，１００件程度、計３，５００件を配布した。

（委員）

- ・各３地域に対してランダム抽出か。

（事務局）

- ・ランダム抽出である。

（委員）

- ・亀岡市は以前から「幸福度調査」を実施しているが、今回の結果から、何が高齢者の幸福感を下げているのか、具体的な要因（社会とのつながり等）の分析はできているか。

（事務局）

- ・現段階は速報版であり、他の設問とのクロス集計（関連分析）までは至っていない。

（委員）

- ・次回以降、幸福度を下げているリスク因子の詳細な分析結果を提示してほしい。

（委員）

- ・全体的な数値の推移として、前回より低下しているのか。

（事務局）

- ・若干低下している項目が多く、フレイル予防の実践不足や相談窓口の認知不足を課題として捉え、施策に反映させたいと考えている。

（委員）

- ・軽度者が多かった亀岡でも高齢化が進展し、特に山間部でのリスク上昇は移動手段の制約が背景にあるのではないかと。また、相談先について「相談できない」のか「相談したくない」のかという心理的背景の検証も必要。昨今の「ゆるふわなつながり」といった社会学的知見も対策に取り入れても良いのではないかと思う。

（委員）

- ・老人クラブ（単位クラブ）の衰退が深刻である。一時は約５０クラブあったが、現在は２５クラブへと半減し、会員数も激減した。行政には新たな単位クラブ結成に向けた支援をお願いしたい。

（委員）

- ・西部（畑野町）で実施している住民主体の有償ボランティア移送サービスの事例を紹介する。現在は２０名のボランティアが利用者を支えており、外出や会話を通じて活力を取り戻した独居高齢者もいる。非常に有効な制度であると実感している。

協議事項（２）第１０期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュールについて

（事務局資料説明） 【資料２】

【質疑応答等】

（委員）

- ・調査結果の完成版の報告書はいつ頃の送付予定か。

（事務局）

- ・３年前は５月に送付していたと思う。

（委員）

- ・委員の任期（２年）と、介護保険事業計画の策定サイクル（３年）がずれている。計画策定の途中で委員が交代してしまうのは非効率であり、任期を３年に合わせるよう規則の変更を検討すべきではないか。

（事務局）

計画策定の連続性を担保する上で真っ当な意見である。今後、検討したい。

その他

（事務局）

- ・次回の令和８年度第１回いきいき長寿プラン推進協議会は、令和８年８月頃に予定している。

（会長）

- ・他には何か質問等はあるか。質問がないようなので、本日の議事はすべて終了となる。

【閉会】

（事務局）